

# 今月の大槌びと

あずま  
**東 あずささん** (24歳、モデル)

モデルとして活躍する東さん。力になっているのは、震災での経験や大槌での家族の言葉だと言います。

東日本大震災の経験が自分を奮い立たせてくれた今回は撮影のご協力ありがとうございました。

東さん(以下東)「みんなが見る広報に載ることができて嬉しいです。広報はネットでも見えています。実はどんな雑誌よりちゃんと見ているかも(笑)。特に「すくすく広場」の赤ちゃんの写真が楽しみなんです。

ありがとうございます。東さんと話すとなんか大槌が好きなお話が伝わってきます。

東「やっぱり自分が育った町だし、たくさん良いところや好きなものがあります。高校生の時に地元を離れることになり、寂しさや不安もあったんじゃないですか？」

東「芸能界という華やかな

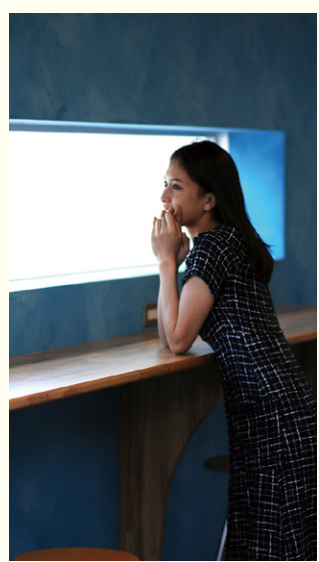
な世界は憧れもあった反面、厳しい世界だという認識もありましたから、不安はありません。でも、自分で決めて、もう後戻りはできないと言いつつ、聞かせながら頑張ってきました。気持ち折れそうな時は、震災の時の大変な経験が、自分を奮い立たせてくれたように思います。

自分への厳しさを試されるお仕事だと思えます。

東「親には、「お菓子と一緒に、パッケージだけきれいで、中身が美味しくなかったら意味が無いんだ。」と教えられてきました。外見じゃなく、自分の中身を磨いていかなきゃいけない。大槌にいた頃から大事にしてきたことを忘れずに、今も東京で頑張っています。だから私は、自分が大槌で育ったんだな、と実感できています。

## 外見だけじゃなく中身を磨いていきたい

モデルの仕事や、ブラジリアン柔術のトレーニングなど、



新しい大槌駅から町を眺める

## 大槌びと クロストーク Cross talk

3月号 あべ愛音さん  
4月号 あずまあずささん

前号と今号の大槌びとが対談するコーナーです。様々な分野で活躍する大槌びとの皆さんが、誌面の上で出会います。「たし算」ではなく、「かけ算」の絆が、また新たな大槌を創っていきます。

東さん(以下東)「広報の表紙になってどうだった？家族の人とかみんな喜んでしょ？」

阿部さん(以下阿)「はい。おばあちゃんも喜んでくれました。友達からも見たよって言われました。」

東「絶対良い記念になるよ。民謡をやっているんですけど、こんなレベルの高い人が大槌にいるって知らなかった。」

阿「私は東さん知ってますよ(笑)。インスタグラムもフォローさせてもらってます！」

お二人はこの企画で偶然出会うことになりました。こればかりで、のちにお二人に何か変化や良い事があればなあ、というのが担当者のひそかな願いです。

東「確かにすごい偶然だし大事な縁だね。私が司会をやるから、イベントで唄ってほしい。場所はマストで(笑)。」

阿「楽しそうです！ぜひやりたいです。」

東「あと大槌の祭りが好きなんです。祭りには出てますか？」

阿「城内の神楽に参加していません。」

東「私は出たことがないんですよ。巫女さんをやってみたいんです。二人でやりませんか？」

阿「いいですね。一緒にならやってみたいです。」

東「ぜひ！でも誰にお願いすればいいんでしょうね(笑)。」

